

開催案内

マンスリーセミナー

463 回	12/21 (火)	車載イーサネット ～標準化動向と評価技術～	名古屋工業大学 未来通信研究センター部 センター長・特任教授 各務 学 氏
<p>(内容) 自動運転に向けて搭載される画像センサやプロセッサ等の機能と規模の拡大が急速に進展しており、これらを繋ぐ車載ネットワークの高速化要求も急展開している。特に世界の主要カーメーカーは高速化を伴うゾーン型アーキテクチャへの転換を目指しており、現在 IEEE802.3 Task Force では車載電気イーサネットは最大 100 Gb/s、車載光イーサネットは最大 50 Gb/s の規格策定と関連技術開発が進んでいる。本セミナーではこれらの標準化動向とそこで規定されている評価方法の実際を紹介する。</p>			
464 回	1/11 (火)	テラヘルツ波 パラメトリック発生検出システムの進化	名古屋大学 工学研究科 電子工学専攻 教授 川瀬 晃道 氏
<p>(内容) 我々が開発している光注入型 THz 波パラメトリック発生器(is TPG: injection seeded THz Parametric Generator)は、減衰や散乱の大きな遮蔽物越しでも計測応用が可能な THz 分光技術である。is TPG は、MgO:LiNbO₃ 結晶をマイクロチップ YAG レーザーで励起し、光注入により波長選択するテラヘルツ光源 であり、テーブルトップサイズでありながら自由電子レーザーを凌駕する 100 kW という高強度 THz 波パルスを発生し、単一周波数発振かつ広帯域周波数可変性(0.4 5.0 THz)を有する。また発生の逆過程を用いることで aJ(10¹⁸ ジュール以下の極微弱 THz 波検出も可能で、発生と検出技術を組み合わせた分光システムのダイナミックレンジは 世界最高レベルの 125 dB に達する。</p>			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧ください。

会 場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅）
東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル 7 階
時 間：午後 3 時 30 分～5 時 30 分
定 員：90 名（申込先着順）
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参 加 料：協会賛助会員：1,500 円（1 回につき・消費税込）
一般参加：3,000 円（1 回につき・消費税込）
大学・公的機関：無料（学生・院生含む）
支払方法：銀行振込
申 込 先：光産業技術振興協会 開発部 村谷
TEL：(03)5225-6431 E-mail：mly@oitda.or.jp